



ステージ配置図作成における注意事項

- 1. 使用する椅子・譜面台の数は、各場所ごとに明確に記入すること。
- 2. 椅子については〇印で記入し、管楽器および弦楽器にて使用する場合は〇印の中またはその上に楽器名を必ず明記すること。 (A部門参加団体は課題曲で使用する楽器名)
 - ※楽器名の略語

Picc···ピッコロ、FI···フルート、(A···アルト、B···バス)、Ob···オーボエ、EH···イングリッシュホルン、 Cl···クラリネット(E \flat ···エス、A···アルト、B···バス、CA···コントラアルト、CB···コントラバス)、 Sax···サクソフォーン(S···ソプラノ、A···アルト、T···テナー、B···バリトン)、Bsn···バスーン、CFg···コントラファゴット、 Trp···トランペット、P.Trp···ピッコロトランペット、Cor···コルネット、E \flat Cor···エスコルネット、 Flug···フリューゲルホルン、Hrn···ホルン、AHr···アルトホルン、Trb···トロンボーン、Euph···ユーフォニアム、 Tub···テューバ、Bs···バス、St.Bs···ストリングバス

- 3. ピアノ椅子は□印で記入し、管楽器および弦楽器にて使用する場合は□印の中またはその上に楽器名を必ず明記すること。 また、借用・持参の記入、借用の場合はその数を必ず記入すること。背なしが必要な場合はその旨を記入すること。
- 4. 電源の使用については☆印で記入し、使用する楽器と線で結んでおくこと。
- 5. ピアノ使用の場合、位置、ふたの開閉を明記すること。(移動可・中央を越えない)